

2019 - 20年度 RI テーマ



Rotary International
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー



四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地域社会に相手方の
目線に立った奉仕活動

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：長尾 穰治
●幹 事：辻田 撰
●会報委員長：大松 桂右

今週のプログラム

第2231回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「奉仕の理想」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 皆出席祝 11年 石川 義一会員
- ⑤ 会務報告

「会長の時間」「幹事報告」

- ⑥ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑦ 第1回クラブフォーラム

クラブ運営委員会部門

堀内 伸也クラブ運営委員長

- ⑧ 閉会 点鐘

*7/27(土) 2019-2020年度 クラブ社会奉仕・
国際奉仕 合同委員長会議

於：大阪社会福祉指導センター 5F

登録 13:30~ 会議 14:00~16:30

高橋 広一国際奉仕委員長 出席予定

次回の予定

第2232回例会 8月2日(金)

★例会前：8月度定例理事会

- ☆8月誕生月祝 高橋会員、堀内会員、長尾夫人
- ☆8月結婚記念日祝 長尾会員
- ☆卓話「八尾東ロータリークラブの魅力について」
辻盛 英一会員増強委員長

前回の例会記録

2019年7月19日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備考
第2230回	27名	12名	63.2%	出席義務免除 10名(出2)
第2228回	27名	12名	57.1%	補 填 1名

ニコニコ箱

- 7/11、孫が2人出来ました。双子なんです。
石川さん、卓話よろしくお願ひします。
長尾 穰治会員
- 石川さん、卓話楽しみです。よろしく。
奥田 長二会員
- ①石川さん、卓話ご苦労様です。
②安田会員が「意識」が戻りリハビリ中とのこと。
皆で喜びましょう！ 鈴木 洋会員
- 先日、父の葬儀の際、弔電、献花を頂き、ありが
とうございました。 高岡 正和会員

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：月3回 金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●今回合計 15,000 円

●累計 35,000 円

会長の時間

近隣 3 クラブに辻田幹事と表敬訪問させて頂きました。

7 月 3 日、親クラブであります八尾 RC に訪問致しました。厳格なる雰囲気の中、今年度初例会が始まり、分刻みで例会が進行していき、感激致しました。新入会員 3 名が入会され、名誉会員より正会員になられた方が 1 名おられました。

ニコニコ箱も全て読み終わるまで 5 分位かかったと思います。会長所信表明の中でも今年度ニコニコ目標、片手を目指しますと言われ、八尾 RC のすごさを感じた次第です。

7 月 9 日昼には大阪柏原 RC に訪問致しました。7 月 2 日に初例会を終えられ、和やかな雰囲気の中、訪問を受け入れて頂きました。

大阪柏原 RC は今年度創立 50 周年を迎えられます。会員数は当クラブとほぼ同じで、7 月 2 日初例会には 1 名入会されておられます。

例会場も広く、6 階で景観も素晴らしく、楽しく例会を過ごさせて頂きました。

7 月 9 日の夜には八尾中央 RC に訪問致しました。こちらも 7 月 2 日に初例会を終えられておりました。少人数であります、出席率 90% 以上です。

例会場もマンションの一室を借り上げている為、例会後、フリータイムで楽しんでおられ、ポール・ハリス氏がロータリーを創設し、同志と語り合い、「つながり」を大切に、今日まで来たのだらうと、八尾中央 RC の例会を訪問させて頂き、私自身感じた次第です。

幹事報告

【配布物】

- ①週報
- ②ロータリーの友誌
- ③八尾東ロータリークラブ内規追加案

【連絡事項】

- ①7/23 (火) 新旧理事役員慰労会
於：リノアス 8F パウハナ 18:00~

* 八尾東ロータリークラブ内規追加案の件、本日 (7/19) にクラブ会員の承認を頂きました。

卓話

「キャッシュレス

経済学」

石川 義一会員



現金のやり取りをせずに支払いを行う決済方法「キャッシュレス」。

今、中国は急速にキャッシュレス決済が普及している国とされています。その中でも世界一の人口を誇る都市、上海のキャッシュレス事情をお話したいと思います。

◎中国人の生活に根付く「アリペイ」と「WeChat ペイ」

現地人に話を聞くと、中国ではまとまった現金を持ち歩いている人はほとんどいないそうです。現金を持っている人がいるとすれば、それは高齢者や海外からの出張者、旅行者であるという。

中国では現金への信用度が低いなどといった様々な理由で、スマートフォンで QR コードを読み込んで支払いを行う「QR コード決済」が主流になっています。この QR コード決済の代表的なアプリが「アリペイ」と「WeChat ペイ」です。

中国ではこの2つのサービスが生活に欠かせないものとなっており、コンビニなどの少額の買い物から自動車などの高額な買い物、そして預金や資産管理、個人間送金などにも利用されています。

◎ファストフードや飲食店はキャッシュレスで行列緩和

ファストフード店では入り口すぐにセルフレジが設置されています。

セルフレジはタッチパネルで操作を行い、購入したい商品を選択する。

この店舗では「ハンバーガーのピクルス抜き」といった通常は口頭で店員に伝えるような注文にも対応できるようにしている。

注文内容を確認し、決済アプリで、QR コードをかざすと支払いが完了する。

即座に受け取り番号が発行されるので、モニターに自分の番号が表示されたらカウンターで商品を受け取る。

現金のやりとりがないので決済業務の時間を短縮することができ、これまでにあったレジ待ちの長い行列は解消できている様子です。

◎生活必需品となった QR コード決済について中国人は何を思うのか

上海の街を見渡すと、証明写真機や自動販売機、地下鉄の改札入場までもがキャッシュレス一色の状態です。中国人にとって QR コード決済は生活必需品になっているといっても過言ではない

ようです。

ここでキャッシュレスによって個人情報が筒抜けであることについてどう思っているのかを聞いてみると「特に誰も気にしていない状態」という回答が返ってきました。十数億人いる内の一人として自身の情報がそこまで重要でないことは明らかで、情報を管理活用されていることをほとんどの人が何とも思っていないというのです。

また、「自分の情報が社会発展につながるのであれば喜んで提供する」という未来志向の声もあった。もともと中国はインフラの未整備や環境の悪さがあったからこそキャッシュレスが浸透したと考えられている。QR コード決済は中国人のライフスタイルやマナーまでもを変えつつある唯一無二の存在なのです。

キャッシュレスについては深く広いですから、次に時間を頂き、話をしたいと思っています。

(* 雑誌：「キャッシュレス最前線」から一部引用)



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB